



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月27日

上場取引所 東名

上場会社名 パナソニック デバイスSUNX株式会社
コード番号 6860 URL <http://panasonic.net/id/pidsx/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 荒谷 悦司
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理担当 (氏名) 宮下 英二

TEL 0568-33-7211

四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	31,875	6.3	3,528	39.4	3,859	43.9	2,632	44.5
26年3月期第3四半期	29,981	7.8	2,531	18.2	2,682	23.1	1,821	26.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 3,461百万円 (45.6%) 26年3月期第3四半期 2,376百万円 (44.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	46.79	—
26年3月期第3四半期	32.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	40,170	32,967	81.5	581.72
26年3月期	37,974	30,264	79.2	534.40

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 32,735百万円 26年3月期 30,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
27年3月期	—	6.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成27年1月27日)公表いたしました「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	6.2	4,200	21.7	4,400	22.2	2,900	24.0	51.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成27年1月27日)公表いたしました「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	56,457,898 株	26年3月期	56,457,898 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	183,970 株	26年3月期	183,336 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	56,274,406 株	26年3月期3Q	56,274,643 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては個人消費や雇用が堅調に推移しました。一方、欧州においては緩やかな景気回復基調に転じているものの、原油安に端を発した経済不安により下振れ懸念は払拭されない状況の中で推移いたしました。また、中国をはじめとする新興国においては、成長スピードに減速感がみられ、総じて、世界経済はまだら模様の様相を呈しました。わが国経済においては、企業収益や雇用情勢が改善されるなど、緩やかな回復基調がみられた一方、消費税率引き上げによる影響や円安に伴う物価高により、消費マインドは低調に推移しております。

このような状況下、当社グループは、国内においては、自動車関連及び電機・電子関連向けが堅調に推移し、国内売上高は18,359百万円（前年同期比2.3%増）となりました。中国においてスマートフォン製造設備関連向けの販売が拡大するとともに、工場自動化の需要高まりを受け好調に推移し、海外売上高は13,516百万円（同12.3%増）で第3四半期累計ベースで過去最高の実績となりました。

以上の結果、売上高は31,875百万円（同6.3%増）、営業利益は3,528百万円（同39.4%増）、経常利益は3,859百万円（同43.9%増）、四半期純利益は2,632百万円（同44.5%増）となり、売上高、利益とも第3四半期累計ベースで過去最高の実績となりました。

セグメント別の状況

・センシングコントロール事業（FA用センサ、PLC、プログラマブル表示器等）

国内においては、自動車製造設備関連向けに売上高が増加しました。海外においては、中国でのスマートフォン製造設備関連向けに売上高が増加しました。その結果、センシングコントロール事業の売上高は19,885百万円（同10.4%増）、セグメント利益は4,027百万円（同36.4%増）となり、売上高、利益とも第3四半期累計ベースで過去最高の実績となりました。

・プロセッシング機器事業（レーザマーカ、画像処理機、紫外線硬化装置等）

国内においては、レーザマーカが自動車部品及び電機・電子部品関連向けに売上高が増加しました。海外においては、中国でのレーザマーカ及び画像処理機がスマートフォン製造設備関連向けに売上高が増加しました。その結果、プロセッシング機器事業の売上高は7,053百万円（同15.1%増）、セグメント利益は631百万円（同81.1%増）となり、売上高、利益とも第3四半期累計ベースで過去最高の実績となりました。

・Eco・カスタム事業（エコ関連商品、カスタム部品、カスタム商品等）

エコ関連商品においては、エネルギー管理システム導入に伴う補助金制度の終了が影響しましたが、無線環境センサなど新商品が寄与し、前年並みで推移いたしました。一方、カスタム商品においては、大口件名の売上高が減少しました。その結果、Eco・カスタム事業の売上高は4,936百万円（同15.5%減）となりました。なお、セグメント利益は費用低減等を実施しましたが、売上高減少の影響が大きく166百万円（同61.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は40,170百万円となり前連結会計年度末に比べ2,196百万円の増加となりました。この主な要因は下記のとおりであります。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ1,292百万円増加し、28,363百万円となりました。主な内容はたな卸資産が1,424百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ905百万円増加し、11,807百万円となりました。主な内容は有形固定資産が725百万円、無形固定資産が293百万円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は前連結会計年度末に比べ226百万円減少し、5,438百万円となりました。主な内容は賞与引当金が293百万円減少したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は前連結会計年度末に比べ281百万円減少し、1,764百万円となりました。主な内容は退職給付に係る負債が269百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末に比べ2,703百万円増加し、32,967百万円となりました。主な内容は四半期純利益2,632百万円による増加と、配当金の支払731百万円の減少等によります。

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより10,768百万円となり、前連結会計年度末に比べ234百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益3,862百万円、売上債権の減少による資金の増加483百万円を計上する一方、たな卸資産の増加による資金の減少1,209百万円等がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは2,051百万円となり前年同四半期に比べ735百万円収入が減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,145百万円及び無形固定資産取得による支出506百万円等により1,636百万円の支出となり前年同四半期に比べ86百万円支出が減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額741百万円等により742百万円の支出となり、前年同四半期に比べ372百万円支出が減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成26年4月24日に公表いたしました平成27年3月期の通期業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成27年1月27日)公表いたしました「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,184	5,216
受取手形及び売掛金	4,182	3,805
商品及び製品	1,835	2,668
仕掛品	568	595
原材料及び貯蔵品	2,516	3,080
預け金	11,349	11,551
その他	1,446	1,453
貸倒引当金	△11	△8
流動資産合計	27,071	28,363
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,828	3,827
その他(純額)	5,643	6,369
有形固定資産合計	9,472	10,197
無形固定資産	585	878
投資その他の資産	845	731
固定資産合計	10,902	11,807
資産合計	37,974	40,170
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,741	2,743
未払金	1,014	1,125
未払費用	539	579
未払法人税等	488	252
賞与引当金	807	514
その他	73	223
流動負債合計	5,664	5,438
固定負債		
退職給付に係る負債	1,998	1,729
その他	47	34
固定負債合計	2,045	1,764
負債合計	7,710	7,203

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,155	3,155
資本剰余金	10,534	10,534
利益剰余金	15,954	17,845
自己株式	△64	△64
株主資本合計	29,580	31,470
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44	46
為替換算調整勘定	646	1,399
退職給付に係る調整累計額	△198	△181
その他の包括利益累計額合計	492	1,265
少数株主持分	191	232
純資産合計	30,264	32,967
負債純資産合計	37,974	40,170

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	29,981	31,875
売上原価	21,231	22,009
売上総利益	8,749	9,866
販売費及び一般管理費	6,218	6,337
営業利益	2,531	3,528
営業外収益		
受取利息	30	65
受取配当金	2	2
受取地代家賃	25	27
為替差益	94	225
その他	11	16
営業外収益合計	164	337
営業外費用		
支払利息	5	—
不動産賃貸費用	4	3
その他	3	3
営業外費用合計	13	6
経常利益	2,682	3,859
特別利益		
固定資産売却益	4	8
特別利益合計	4	8
特別損失		
固定資産除却損	30	5
子会社整理損	45	—
特別損失合計	76	5
税金等調整前四半期純利益	2,609	3,862
法人税、住民税及び事業税	582	942
法人税等調整額	185	262
法人税等合計	767	1,204
少数株主損益調整前四半期純利益	1,841	2,657
少数株主利益	20	25
四半期純利益	1,821	2,632
少数株主利益	20	25
少数株主損益調整前四半期純利益	1,841	2,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	2
為替換算調整勘定	526	784
退職給付に係る調整額	—	17
その他の包括利益合計	534	803
四半期包括利益	2,376	3,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,336	3,405
少数株主に係る四半期包括利益	40	56

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,609	3,862
減価償却費	906	977
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△190	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△242
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△271	△302
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△2
受取利息及び受取配当金	△32	△67
為替差損益 (△は益)	△35	△115
支払利息	5	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	26	△3
売上債権の増減額 (△は増加)	939	483
たな卸資産の増減額 (△は増加)	13	△1,209
仕入債務の増減額 (△は減少)	△125	△77
未払金の増減額 (△は減少)	△51	△59
その他	52	△52
小計	3,845	3,190
利息及び配当金の受取額	32	67
利息の支払額	△5	—
法人税等の支払額	△1,085	△1,206
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,786	2,051
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預け金の預入による支出	△6,000	△6,000
預け金の払戻による収入	5,000	6,000
有形固定資産の取得による支出	△501	△1,145
有形固定資産の売却による収入	25	15
無形固定資産の取得による支出	△246	△506
その他	—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,722	△1,636
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△536	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△557	△729
少数株主への配当金の支払額	△20	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,114	△742
現金及び現金同等物に係る換算差額	342	560
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	292	234
現金及び現金同等物の期首残高	9,413	10,533
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,706	10,768

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o・ カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	18,008	6,128	5,843	29,981
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	18,008	6,128	5,843	29,981
セグメント利益	2,952	348	436	3,737

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,737
全社費用(注1)	△1,240
調整額(注2)	34
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	2,531

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) 調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o・ カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	19,885	7,053	4,936	31,875
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	19,885	7,053	4,936	31,875
セグメント利益	4,027	631	166	4,824

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,824
全社費用（注1）	△1,340
調整額（注2）	44
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	3,528

（注1）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（注2）調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。